



ニユース・ダイジエストNAHA

南極観測船「しらせ」が10年ぶりに那覇港新港ふ頭に接岸しました。9月14日(土)と15日(日)に行われた一般公開には大勢の家族連れや学生、園児らが見学に訪れました。全長134メートル、最大幅28メートルの「しらせ」は日本唯一の砕氷艦で、厚い氷を強力な推進力で砕氷して前進します。船上では、南極の氷と石、ペンギンのマスコット人形、パネルなどを展示。子どもたちは氷に触れたり、興味深そうに石を観察するなど南極ムードを楽しみました。



南極ムードを楽しむ 観測船「しらせ」一般公開

8月12日から五泊六日の日程で、天妃小学校・上山中学校の児童生徒らが、中国福州市を訪問しました。那覇市と福州市は、1981年に友好都市を結び、95年からは交互に児童生徒を派遣して、学校行事への参加やホームステイによる体験学習などの交流が続けています。今回の訪問では上山中学校と福州外国語学校が友好校の縁を結びました。交流会では両市の子どもたちがダンスをしたり、お互いの伝統芸能を披露するなど、笑顔で友情を深めました。



笑顔で交流、友だちできた —那覇・福州児童生徒派遣交流祭—

市内の各地域で特色ある伝統芸能や行事を継承してきた青年団体により多彩な芸能が披露される「なは青年祭」が9月14日・15日の両日、とまりん広場で催されました。10回目を迎えた今年は、例年にもまして熱気あふれる演舞が会場せましと披露され、盛んな拍手と指笛が絶え間なく飛び交いました。フィナーレは観光客も含めた全員が総立ちでカチャーシーを乱舞。日焼けした青年たちの顔が打ち上げられた大輪の花火のもと、まぶしく照らされました。



那覇が唄う 那覇が踊る 第10回記念 なは青年祭

スポーツに親しむことで、心身ともに健康で明るい生活をおくろうと那覇市民ソフトボール大会が9月15日(日)、奥武山公園多目的広場と少年野球場で行われました。青空のもと、友人や職場の同僚で構成された15チームがそろいのカラフルなユニフォーム姿で参加。プレーボールが告げられると、気迫あふれるバッティングや懸命の守備、さらにはランニングホームランも飛びだすなど、選手たちは心地よい汗と一足早いスポーツの秋を満喫しました。



スポーツの秋を満喫 那覇市民ソフトボール大会

住宅街のプチオアシス

松川の指帰橋

手近な場所ですと癒されたいな、また、その昔この辺りが松川村と呼ばれていた頃には、妖怪が出没し人々を苦しめたので、日秀上人が石碑を建てて人々を救ったという伝説も残されています。川道29号線(大道通り)から、松てて人々を救ったという伝説も残されています。川小学校方面に抜ける閑静な住宅街に、指帰橋はあります。にぎやかな大道通その事を話してみると、妖怪つてなりとは違い車の通日も少ないので、川に?トトロみたいなの?だったら怖の流れる音を聞きながら散策してみたいね、という返事...妖怪も出ると、今流行のマイナスイオン効果も期待できるわけですね。

指帰橋という、めずらしい名前の由りは水もきれいで橋の上からは泳いで来は、首里城へ物資を運ぶ船が港から見る魚もはつきり安里川を上ってきて、ちよどここの橋 見えるほどですの辺りで荷を下ろし引返したからとい (しかも結構、う説があります。 大きい)。街中川のせせらぎに耳をすましてみると、の喧騒に疲れた悠久の時を超えて、遠く古人(いにしえ)ら、ちよと息えびと)の舟を漕ぐ掛け声が聞こえて 抜きに寄ってみきそうな、そんな佇まいや雰囲気を持てはいかがでした場所です。



第32回 **那覇まつり**
平成14年10月12日(土)~14日(月)

市民演芸・民俗伝統芸能パレード	12日(土)国際通り
旗頭行列・那覇大綱挽	13日(日)国際通り・国道53号
那覇まつり市民フェスティバル	12日(土)~14日(月)奥武山公園
なは商工フェア	12日(土)~14日(月)奥武山公園

お問い合わせ 観光課 ☎862-3276 観光協会 ☎862-1442

重要文化財指定記念展
尚家継承美術工芸
—琉球王家の美—
平成14年10月4日(金)~13日(日)

午前10時~午後7時 *最終日は午後5時まで
会場 那覇市民ギャラリー(パレットくもろ6F)
入場料 500円(小学生は無料)

重要文化財指定記念シンポジウム
「尚家継承文化遺産」と琉球王国の文化を考える
平成14年10月9日(水)午後6時30分~8時30分(開場6時)
会場=パレット市民劇場(パレットくもろ9F)
主催 那覇市 **入場無料**
お問い合わせ 那覇市市民文化歴史資料室 ☎855-5193